

[有用遺伝資源の評価・利用]
秋まき11月どりコカブの有望品種

蛭木朋子・野口 貴・海保富士男・徳田真帆
(園芸技術科)

【要 約】9月下旬まきのコカブの有望品種は、球の揃いが良く、在圃性に優れた「MS-1346、ゆきわらし、きらりのゆめ、MS-1306(徳寿)」である。

【目 的】

コカブは北多摩地域を中心に周年的に栽培される根菜類であり、新品種に対する生産者の関心が高い。そこで、本年度は代表作型の秋まきで、品種の比較を行い、普及指導上の資料とする。

【方 法】

品種は「ゆきわらし」以下11品種を供試した。2021年9月22日に、ベッド幅70cm(通路70cm)、条間15cmの4条で、12cm間隔で3粒ずつ播種した。間引きは1カ所で1株立ちになるよう10月5日に行った。播種後から10月22日までは、寒冷紗を用いてトンネル被覆した。施肥は、全量基肥とし10aあたり成分量でN:P₂O₅:K₂Oを各10kg施用した。収穫調査は11月16日に行った。

【成果の概要】

1. どの品種も球の尻詰まりが良く、毛穴が浅く、表面は凹凸がなく滑らかで、表面・内部ともに白かった。球の揃いで、球重および球高と球形の比の変動が小さく、目視でも揃いが良いのは、「MS-1346、ゆきわらし、きらりのゆめ、CR恋ばな、MS-1306(徳寿)、なつばな」であった(表1)。
2. 球形は、「CRきらりん、ゆきわらし、雪牡丹、きらりのゆめ、CR恋ばな、MS-1306(徳寿)」で偏円またはやや偏円で、「MS-1306(徳寿)、二刀、CRゆきばな、冬の庄、なつばな」で腰高またはやや腰高となった(表1)。
3. 草姿は、「CRきらりん、きらりのゆめ、CRゆきばな、冬の庄」が開で、あとは中であつた。草勢は、「CRきらりん、冬の庄」が弱で、それ以外は中程度であつた。葉色で、目視、計測値ともに濃いのは「MS-1346、CRきらりん、きらりのゆめ、CR恋ばな」で、淡いのは「雪牡丹」であつた(表1)。
4. TR比が小さくなったのは、「CRきらりん、きらりのゆめ」で、根部の肥大が早く球重が重かつた(表1)。
5. 収穫期頃には地上部、根部の生育が進行し、「CR恋ばな、冬の庄、なつばな」の一部が11月12日に横転したのを確認した(図1)。いずれもTR比が高く、地上部が重くなったところに11月9日のまとまった降雨による負荷が加わり横転したと考えられる(図2)。

【残された課題・成果の活用・留意点】

秋まきコカブは、気象条件が変化しやすい時期の栽培なので、収穫適期が変動しやすい。収穫適期が遅れると横転しやすい品種もあるため留意する。

表1 コカブの地上部および根部の形状および特徴 (2021年11月16日収穫)

品種	種苗会社	草姿	草勢	葉数 (枚)	葉長 (cm)	葉色 (SPAD)	葉色 (目視)	球高 (cm)	球径 (cm)	球高/球径	球形 目視
ゆきわらし	カネコ種苗	中	中	9	42	25	中	5.5	7.1	0.78	やや扁平
冬の庄	カネコ種苗	開	弱	11	44	26	濃	5.7	6.6	0.87	円
二刀	サカタのタネ	中	中	9	41	26	中	5.9	6.6	0.89	円
CR恋ばな	タキイ種苗	中	中	9	43	26	濃	5.1	6.4	0.80	やや扁平
CRゆきばな	タキイ種苗	開	中	10	41	25	中	6.2	6.5	0.96	やや腰高
なつばな	タキイ種苗	中	中	10	41	25	中	5.5	6.4	0.86	円
CRきらりん	日本農林社	開	弱	9	40	27	濃	5.9	7.4	0.80	やや扁平
きらりのゆめ	日本農林社	開	中	11	40	27	濃	6.0	7.5	0.79	やや扁平
雪牡丹	武蔵野種苗	中	中	10	42	25	淡	5.6	6.9	0.80	やや扁平
MS-1346	武蔵野種苗	中	中	9	36	27	濃	6.0	6.6	0.91	円
MS-1306 (徳寿)	武蔵野種苗	中	中	10	39	26	中	5.7	6.9	0.83	やや扁平

品種	種苗会社	主根径 (cm)	首径 (cm)	葉重		球重		TR比 ^a	横転 ^b	揃い ^c 目視	入賞 ^d
				(g)	cv	(g)	cv				
ゆきわらし	カネコ種苗	0.451	3.4	109	0.29	156	0.24	0.71		○	○
冬の庄	カネコ種苗	0.455	3.6	94	0.15	133	0.26	0.73	●	○	
二刀	サカタのタネ	0.455	2.9	93	0.22	140	0.30	0.68		△	
CR恋ばな	タキイ種苗	0.420	3.2	103	0.21	115	0.23	0.91	●	○	
CRゆきばな	タキイ種苗	0.493	2.9	96	0.11	146	0.18	0.67		△	
なつばな	タキイ種苗	0.422	3.1	102	0.22	126	0.19	0.81	●	○	
CRきらりん	日本農林社	0.305	2.9	85	0.18	185	0.27	0.48		△	
きらりのゆめ	日本農林社	0.396	2.9	86	0.14	184	0.22	0.48		○	○
雪牡丹	武蔵野種苗	0.429	3.2	95	0.19	147	0.26	0.66		○	
MS-1346	武蔵野種苗	0.378	3.1	93	0.16	148	0.24	0.65		○	○
MS-1306 (徳寿)	武蔵野種苗	0.362	3.4	92	0.18	144	0.23	0.65		○	○

a) 地上部重を球重で割った比率を示す。b) 区画の一部で横転を確認したものを●印で示す。c) 抜き取り後の目視の揃いを○(良い)-△(中間)-×(悪い)で示す。d) 2021年の種苗審査会の入賞を示す。e) MS-1306は調査時点の名称で、()内に1月時点の名称を示した。



図1 横転したコカブの様子
根部肥大部の底面が地表から離れ、横倒しになっている。

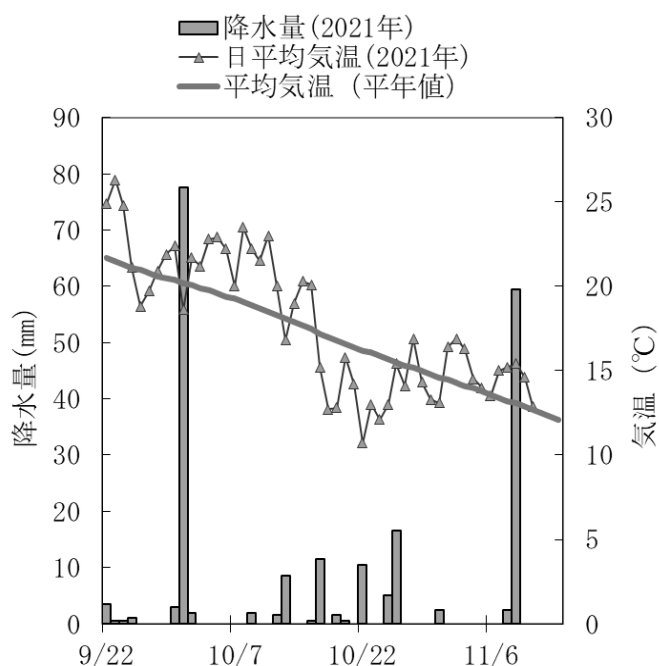


図2 栽培期間中の気象条件
注) 気象庁アメダスの府中のデータを参照した。